

第4回 神奈川県ボランティア活動推進基金審査会

平成28年12月21日 14:00～18:48

(開会)

(基金事業課長から開会の説明)

- ・ 全員出席。
- ・ 本日の流れ
 - ・ 2時40分から平成29年度ボランティア団体成長支援事業のプレゼンテーション審査、続いてプレゼンテーション内容などをもとに選考審査。
 - ・ 4時から結果発表
 - ・ 4時20分から平成28年度ボランティア活動奨励賞の選考審査。
 - ・ 6時過ぎから、「その他」。

(審査会長から開会の宣言)

- ・ 平成28年度第4回ボランティア活動推進基金審査会を開催。
- ・ 率直なご意見をいただき公平な審査をする必要があるため、神奈川県情報公開条例第25条第1項第1号及び第2号に該当するため非公開。
- ・ 3階で行われるプレゼンテーション審査は公開。

(かながわボランティア活動推進基金21条例の改正について)

(くらし県民部長から以下について説明)

- ・ 「ボランティア団体等と県との協働の推進に関する条例及びかながわボランティア活動推進基金21条例の一部を改正する条例」が成立し、ボランティア団体等として定義する団体に、一般社団法人及び一般財団法人が追加されることとなった。
- ・ このたびのボランティア団体等の範囲拡大にあっても、基金21での支援対象に関する基本的な考え方は変わらない。
- ・ ボランティア団体等の要件を、条例実施要綱等に明記する。
- ・ 県議会本会議において、出された意見を紹介した。

(審議事項1 平成29年度ボランティア団体成長支援事業の選考)

(基金事業課長から以下について説明)

- ・ ボランティア団体成長支援事業の審査スケジュール（資料1）。
- ・ ボランティア団体成長支援事業の応募状況（資料2）。
- ・ 来年度ボランティア団体成長支援事業予算について。
- ・ 提案団体と利害関係のある委員なし。

（事務局から以下について説明）

- ・ プレゼン審査対象団体の提案概要（資料2、資料3）。
- ・ 制度に関する意見については、参考資料にまとめた。

（中島委員から幹事会での事前調査について説明）

（委員による審議）

- ・ ボランティア団体成長支援事業への提案事業に対するプレゼンテーション審査時の確認事項について検討した。

（プレゼンテーション審査）

- ・ ボランティア団体成長支援事業への提案事業に対するプレゼンテーション審査を行った。

（委員による審議）

- ・ ボランティア団体成長支援事業への提案事業に対するプレゼンテーション審査の結果を受け、選考の可否等を審議し、選考した。
- ・ 担当委員の間で、結果発表の際のコメントを作成した。

（結果発表）

【長坂会長】 お待たせして申し訳ありませんでした。結果発表させていただきます。

関内イノベーションイニシアティブ株式会社「NPO支援機関の専門力強化および、NPOと支援機関のマッチングによる中長期計画策定支援」。

採択させていただきます。契約金額は720万円。以上です。

【基金事業課長】 審査委員からコメントを発表します。高橋委員お願いします。

【高橋委員】 今年3年目となることで、今回の事業の提案に関しましては、NPO等が実践を意識して、NPO運営への正しい理解、関連施策の基礎知識

の向上を図りながら雇用の創出や社会変革、アドボカシーなどの役割を担うことは大変重要であります。なかなか一般的にやる事業としてやるのが難しい中、継続して提案をしていただいたことに関し、今迄の成果もしっかり理解でき実効性も期待できて、更なる要素が伝わってまいりました。参加団体、支援者が共通理解を持ってプログラム卒業後の自立への促し、専門家や研究機関などの通常では現場にあまりなじみのない方との理解者・支援者を増やすための巻き込み方など御団体ならではの、ということで実践に期待したいと思っております。

具体的に参加団体支援に関しては持続性強化・底上げ、更に先進性を目的に成果として挙げ、中長期計画の策定、マネジメントの必要性の理解、先進的な取組み、NPOのケーススタディなど参加団体の成長にとっての重要なものと考えています。

一方、今回3年目を迎えるにあたっては、より期待をしますということも含めて中間支援組織を通じた各団体が一緒に成長できるような仕組みが更に大事であると考えています。これまで支援してきた団体が具体的にどのように成長してきたのか、成果の可視化を行っていただいて、この支援事業の重要性を、より課題を抱えた団体や第三者にも理解が深まるよう工夫した情報発信を行っていただくよう努力をお願いします。

具体的には既に課題整理をされて発表の内容にもありましたように、例えば課題を踏まえた団体の集客等のやり方にまだまだ課題があるのかなあとという風に思っております。これまでやってきた具体的な事例をもとに、もう一度2年間の具体的な事例を、課題の整理をしていただいて、この大事な支援がどのような団体が本当に必要なのか、なぜこの支援が必要な団体に情報の価値が届かないのかなどを整理することで情報提供のやり方を再検討するなど、フローの見直しなども行う必要があるのかなあとと思います。そのためには自らが課題を抱えている団体にできれば足を運んでいただいてフェース・トゥ・フェースで今までの成果を説明するなどの工夫をしていただいて、マーケティングのやり方、フローの見直しなどの改良を行っていただければと思っております。そこで先ほどお伝えした成果の可視化。本当に課題を抱えた支援団体に、必要な支援・情報を届けることを基金21の参加団体も含まれて、団体の招集、支援というところにごんばっていただきたいなあと思っております。

できるだけ、横浜川崎ということでございましたが、非常に成果にも期待があつて、いろんな神奈川の秘めた力を持っている団体を発掘していただくというような取組みも行っていただきたいと思っております。更にこれまでタグを組んでいる浜銀総研や、他の専門家の方々のノウハウを御団体がしっかりと吸収していただいて、今後の神奈川県内の自立した中間支援組織となるよう期

待をしています。今回初事業となる「社会的企業ビジネスモデル研究会」の成果も、多くの方が事業終了後に見られるような形で共通理解を図れるような取組みも行っていきながら情報公開することによって理解をさまざまな方に広げていただけて横展開していただけるとありがたいです。

最後に3年目というところでもありますが、御団体が目標とされている、多くのNPOが難しい雇用創出の流れをしっかりと作っていただけて多くのNPOの夢を広めていってほしいと思います。以上です。

【基金事業課長】 全体の総評を、長坂会長お願いします。

【長坂会長】 いろいろありがとうございました。

神奈川県を含めて市民活動それ自身がいくつかの壁があるわけですが、その中のひとつ、NPOの経営力ですね。それをなんとかしなければいけないということでこの成長支援事業が導入されてきました。

今回4年目の審査ですが、1年目、さまざまなやり方のパターンがあり、私たちはいろんなやり方を試してみたいということでありました。しかし、いつの間にか3年続けてそちらにお願いすることとなりました。ある意味では一番文句があったのがやっぱり単年度では成果が出ないよという声もあったんですが、しかしさまざまな中間支援の仕方があり、私たちも学習するし、団体は、多様で高いレベルにあるNPOもあるし、そうじゃないNPOもあるし、いろんな層に対して支援を提供できる仕組みを私たちは見つけなくてはいけない。

思い起こせば2年前に本当にそちらの提案を見てうれしく思いました。たまたまこれが3年続くということで、さっきの単年度主義、こちらから見ると勝手な期待が、いや毎年単年度で冷や冷やしているかもしれませんが、こちらから見ると成果が積みあがって、ついに来年度は爆発をしてすごい成果を挙げるのではないかと勝手な期待をしている。それだけ期待が大きいということで審査においてもいろんな期待が皆さんから寄せられました。さっき担当からお話したとおり2年前に私たちがどういう議論をしたかを思い出すと、例えばソーシャルビジネスのそういうセンスをNPOの中に入れていきますと。とてもいいなと思った。それと、もうひとつとっても重要な点は各地域の支援機関を巻き込んでそれを一緒になってやっていく部分があった。なので、それもとても皆さんに期待しているところ。さっき「交通費が出ないらしい」というがそれは違うだろと、小さい町なんだから、重要さを感じているわけだから、そちらが行って説明をすれば絶対説得できるはず。例えば、そういう努力を私たちは期待している。過剰かもしれないが、新しい団体、対象とする団体に対しては、これを含めて、結果として3年度でするので大きな成果が挙がるだろうと期待を

膨らましていることも含め、姿勢そのものはそういう大きく打って出ること、大きな成果を挙げていただきたいなあと、同時に情報・プロセス、ノウハウの公開などを宜しく願います。

これから私たちもこの成長支援事業をどう捉えていくのか議論していかなければならない。

皆様の成果にとっても大きな意味を私たちは感じている。宜しく願います。

【基金事業課長】 これで公開プレゼンテーション結果発表は終了させていただきます。

(審議事項 2 平成 28 年度ボランティア活動奨励賞の選考)

(基金事業課長から以下について説明)

- ・ ボランティア活動奨励賞の推薦状況 (資料 4)。
- ・ ボランティア活動奨励賞の審査会への付議案件 (資料 5)。
- ・ 副賞の予算について。
- ・ 被推薦者と利害関係のある委員なし。

(事務局から以下について説明)

- ・ 幹事による採点結果、幹事会で出た主な意見、資料の見方など (資料 5、資料 6)

(委員による審議)

- ・ 中島委員から幹事会での議事概要について報告
- ・ 副賞の金額は従来と同額とすることで合意
- ・ 審議の結果、表彰対象として 5 者を選考した。

(その他 1 ボランティア団体成長支援事業に関する検討について)

(事務局から以下について説明)

- ・ ボランティア団体成長支援事業への提案数低下傾向を受け、これまで提案したことのある事業者への制度に関するアンケートを行った結果について

(委員の間で意見交換)

(その他 2 ボランティア活動奨励賞の見直しについて)

(基金事業課長から以下について説明)

- ・平成29年度以降のボランティア活動奨励賞の副賞金額案の提示

(委員による意見交換)

(その他3 基金21条例の改正に伴う審査基準等の検討について)

(基金事業課長から以下について説明)

- ・改正条例施行後から適用される審査基準の案について

(委員による意見交換)

(閉会)

- ・かながわ県民活動サポートセンター所長からあいさつ。
- ・次回審査会日程（2月1日）。